

2014年12月

今月のトピック

- (生物薬品部) ○ 12月12日タワーホール船堀にて「日本のバイオロジクスの発展と国際化」についての講演会を開催した。産官学から20名の講師にご講演頂き、参加者は約230名であった。バイオ医薬品、ワクチン、再生医療等製品の開発、承認審査等に関して活発な討論が行われた。(生物薬品部, 再生・細胞医療製品部)
- (総合評価室) ○ **ICH Q3D ガイドライン Step4** (総合評価研究室) 日米EU医薬品規制調和国際会議(ICH)における「ICH Q3D: 医薬品の元素不純物ガイドライン」がStep4に到達し、ICHのWebサイトで公開(12月16日付)された。
<http://www.ich.org/products/guidelines/quality/article/quality-guidelines.html>

1. 誌上発表(原著論文)

- (生物薬品部) ○ Lu J*, Isaji T*, Im S*, Fukuda T*, Hashii N, Takakura D*, Kawasaki N, Gu J*
*東北薬科大学 分子生体膜研究所
 β -Galactoside α 2,6-Sialyltransferase 1 Promotes Transforming Growth Factor- β -mediated Epithelial-Mesenchymal Transition. (β -ガラクトシド α 2,6-シアリルトランスフェラーゼ1はトランスフォーミング成長因子- β 介在性上皮間葉転換を促進する。)
J. Biol. Chem. **12**;289(50),34627-41 (2014)
- (生薬部) ○ Oshima, N., Zaima, K., Kamakura, H., Hamato, A.*1, Yamamoto, Y.*1, Kang, D.H.*1, Yokokura, T.*2, Goda, Y., Hakamatsuka, T., Maruyama, T.
*1(株) 栃本天海堂, *2 日本粉末薬品(株)
Identification of marker compounds for Japanese Pharmacopoeia non-conforming jujube seeds from Myanmar (ミャンマー産サンソウニンの指標成分の探索)
J. Nat. Med. **69**, 68-75 (2015)
- (医療機器部) ○ 迫田秀行, 新見伸吾, 菅野伸彦*1
*1 大阪大学大学院医学系研究科
抜去した股関節インプラントの超高分子量ポリエチレンコンポーネントに含まれる脂質の測定
日本人工関節学会誌, **44**, 609-610 (2014)
- (食品部) ○ ○堤智昭, 足立利華, 高附巧, 根井大介*1, 亀谷宏美*1, 等々力節子*1, 菊地正博*2, 小林泰彦*2, 松田りえ子*1
*1(独) 農研機構食品総合研究所
*2 日本原子力研究開発機構
加工食品を対象としたアルキルシクロブタノン法(EN1785)の性能評価
食品照射 **49**(1),9-15(2014)
- (食品添加物部) ○ 大月典子, 杉本理恵*1, 佐藤恭子, 杉本直樹, 秋山卓美, 豊田正武*1, 穂山 浩*1
*1 実践女子大学
化粧品・医薬部外品中の乳アレルギータンパク質の分析
日本食品化学学会誌, **21**(3),155-162 (2014)
- 山川有子*1, 山野朋子*2, 相原道子*2, 穂山 浩, 池澤善郎*3
*1 山川皮ふ科, *2 横浜市立大学附属市民総合医療センター, *3 あ

- い皮膚科アレルギー科
フランス製赤色マカロンに含まれるコチニール色素が原因と
思われるアナフィラキシーの1例
皮膚臨床, **56**, 1241-1245 (2014)
- 原田 晋^{*1}, 穂山 浩, 杉本直樹, 山川有子^{*2}
^{*1}はらだ皮膚科クリニック, ^{*2}山川皮膚科
ドイツ製ブラッドオレンジジュースに含まれていたコチニール色素によるアナフィラキシーの1例
皮膚臨床, **56**, 1247-1251 (2014)
- (薬理部) ○ 諫田泰成
ヒト iPS 細胞を用いた成熟心筋細胞の開発
心電図, **34** (3), 306-309 (2014)
- Hayakawa, T.^{*1}, Kunihiro, T.^{*1}, Ando, T.^{*2}, Kobayashi, S.^{*1},
Matsui, E.^{*1}, Yada, H.^{*1}, Kanda, Y., Kurokawa, J.^{*2}, Furukawa, T.^{*2}
^{*1} ソニー株式会社, ^{*2} 東京医科歯科大学
Image-based evaluation of contraction-relaxation kinetics of human-induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes: Correlation and complementarity with extracellular electrophysiology. (画像解析に基づくヒト iPS 細胞由来心筋細胞の拍動評価: 細胞外電気生理学との相関性と相補性)
J Mol Cell Cardiol. **77**, 178-91 (2014)
- (病理部) ○ Naiki-Ito, A.^{*1}, Chewonarin, T.^{*1,2}, Tang, M.^{*1,3}, Pitchakarn, P.^{*1,2},
Kuno, T.^{*1}, Ogawa, K., Asamoto, M.^{*1}, Shirai, T.^{*1} and Takahashi, S.^{*1}
^{*1} 名古屋市立大学, ^{*2} チェンマイ大学, ^{*3} 泸州医学院,
Ellagic acid, a component of pomegranate fruit juice, suppresses androgen-dependent prostate carcinogenesis via induction of apoptosis (アポトーシス誘導を介したザクロジュース成分であるエラグ酸のアンドロゲン依存性前立腺発がん抑制)
Prostate. **75**, 151-160 (2015)
- (変異遺伝部) ○ Takeiri A^{*1}, Wada NA^{*1}, Motoyama S^{*1}, Matsuzaki K^{*1}, Tateishi H^{*2},
Matsumoto K^{*2}, Niimi N, Sassa A, Grúz P, Masumura K, Yamada M, Mishima M^{*1},
Jishage KI^{*1}, Nohmi T.
^{*1} 中外製薬 (株) ^{*2}(株)中外医科学研究所
In vivo evidence that DNA polymerase kappa is responsible for error-free bypass across DNA cross-links induced by mitomycin C. (in vivo で DNA ポリメラーゼ κ がマイトマイシン C 誘発 DNA 架橋に対する誤りのないバイパスを担っている証拠)
DNA Repair, 2014;**24**:113-121.
- Horibata K, Ukai A, Honma M
Evaluation of rats' in vivo genotoxicity induced by N-ethyl-N-nitrosourea in the RBC Pig-a, PIGRET, and gpt assays (RBC Pig-a 法, PIGRET 法および gpt アッセイを用いたエチルニトロソウレアのラット in vivo 遺伝毒性評価)
Genes and Environment, 2014;**36**:199-202.
2. 誌上発表 (総説・解説等)
- (薬品部) ○ 合田幸広
「健康食品」の品質に関する問題
日本食品安全協会会報, **9** (4), 55-62, 2014
- (生物薬品部) ○ Dufield, D.^{*1}, Neubert, H.^{*1}, Garofolo, F.^{*2}, Kirkovsky, L.^{*1},
Stevenson, L.^{*3}, Dumont, I.^{*2}, Kaur, S.^{*4}, Xu, K.^{*4}, Alley, SC.^{*5}, Szapacs, M.^{*6}, Arnold, M.^{*7}, Bansal, S.^{*8}, Haidar, S.^{*9}, Welink,

J.^{*10}, Le, Blaye O.^{*11}, Wakelin-Smith, J.^{*12}, Whale, E.^{*12}, Ishii-Watabe, A., Bustard, M.^{*13}, Katori, N., Amaravadi, L.^{*3}, Aubry, AF.^{*7}, Beaver, C.^{*14}, Bergeron, A.^{*2}, Cai, XY.^{*15}, Cojocar, L.^{*16}, DeSilva, B.^{*7}, Duggan, J.^{*17}, Fluhler, E.^{*1}, Gorovits, B.^{*1}, Gupta, S.^{*18}, Hayes, R.^{*19}, Ho, S.^{*20}, Ingelse, B.^{*15}, King, L.^{*1}, Lévesque, A.^{*14}, Lowes, S.^{*21}, Ma, M.^{*22}, Musuku, A.^{*23}, Myler, H.^{*7}, Olah, T.^{*7}, Patel, S.^{*24}, Rose, M.^{*22}, Schultz, G.^{*21}, Smeraglia, J.^{*25}, Swanson, S.^{*22}, Torri, A.^{*26}, Vazvaei, F.^{*8}, Wilson, A.^{*27}, Woolf, E.^{*15}, Xue, L.^{*1}, Yang, TY.^{*24}

^{*1}Pfizer, ^{*2}Algorithme Pharma, ^{*3}Biogen Idec, ^{*4}Genentech, ^{*5}Seattle Genetics, ^{*6}GlaxoSmithKline, ^{*7}Bristol-Myers Squibb, ^{*8}Roche, ^{*9}FDA, ^{*10}Dutch MEB, ^{*11}France ANSM, ^{*12}MHRA, ^{*13}Health Canada, ^{*14}inVentiv Health Clinical, ^{*15}Merck, ^{*16}Tandem Labs, ^{*17}Boehringer-Ingelheim, ^{*18}Allergan, ^{*19}MPI Research, ^{*20}Sanofi, ^{*21}Quintiles, ^{*22}Amgen, ^{*23}Pharmascience, ^{*24}Janssen, ^{*25}UCB Pharma, ^{*26}Regeneron Pharmaceuticals, ^{*27}AstraZeneca

2014 White Paper on recent issues in bioanalysis: a full immersion in bioanalysis (Part 2 - hybrid LBA/LCMS, ELN & regulatory agencies' input) バイオアナリシス関連の最新の話題に関する 2014 年ホワイトペーパー (第二部-ハイブリッド LBA/LCMS, 電子実験ノート, 及び, 規制関連に関する話題) *Bioanalysis* 6(23), 3237-3249 (2014)

- Stevenson, L.^{*1}, Amaravadi, L.^{*1}, Myler, H.^{*2}, Salazar-Fontana, L.^{*3}, Gorovits, B.^{*4}, Kirshner, S.^{*3}, Xue, L.^{*4}, Garofolo, F.^{*5}, Alley, SC.^{*6}, Thway, T.^{*7}, Joyce, A.^{*4}, Bansal, S.^{*8}, Beaver, C.^{*9}, Bergeron, A.^{*5}, Cai, XY.^{*10}, Cojocar, L.^{*11}, DeSilva, B.^{*2}, Dumont, I.^{*5}, Fluhler, E.^{*4}, Fraser, S.^{*4}, Gouty, D.^{*12}, Gupta, S.^{*13}, Haidar, S.^{*3}, Hayes, R.^{*14}, Ingelse, B.^{*10}, Ishii-Watabe, A., Kaur, S.^{*15}, King, L.^{*4}, Laterza, O.^{*10}, Leung, S.^{*4}, Lévesque, A.^{*9}, Ma, M.^{*7}, Petit-Frere, C.^{*8}, Pillutla, R.^{*2}, Rose, M.^{*7}, Schultz, G.^{*16}, Smeraglia, J.^{*17}, Swanson, S.^{*7}, Torri, A.^{*18}, Vazvaei, F.^{*8}, Wakelin-Smith, J.^{*19}, Wilson, A.^{*20}, Woolf, E.^{*10}, Yang, TY.^{*21}
^{*1}Biogen Idec, ^{*2}Bristol-Myers Squibb, ^{*3}FDA, ^{*4}Pfizer, ^{*5}Algorithme Pharma, ^{*6}Seattle Genetics, ^{*7}Amgen, ^{*8}Roche, ^{*9}inVentiv Health Clinical, ^{*10}Merck, ^{*11}Tandem Labs, ^{*12}Intertek, ^{*13}Allergan, ^{*14}MPI Research, ^{*15}Genentech, ^{*16}Quintiles, ^{*17}UCB Pharma, ^{*18}Regeneron Pharmaceuticals, ^{*19}MHRA, ^{*20}AstraZeneca, ^{*21}Janssen

2014 White Paper on recent issues in bioanalysis: a full immersion in bioanalysis (Part 3 - LBA and immunogenicity). バイオアナリシス関連の最新の話題に関する 2014 年ホワイトペーパー (第三部-LBA 及び免疫原性) *Bioanalysis* 6(24) 3355-3368 (2014)

- (食品添加物部) ○ 原田 晋^{*1}, 穂山 浩, 杉本直樹, 山川有子^{*2}
^{*1}はらだ皮膚科クリニック, ^{*2}山川皮ふ科
コチニールによるアナフィラキシー
皮膚臨床, **56**, 1896-1902 (2014)
- (衛生微生物部) ○ Sugita-konishi, Y.^{*1}, Sato, H.^{*2}, Ohnishi, T.
^{*1}麻生大学, ^{*2}山口大学
Novel Foodborne Disease Associated with Consumption of Raw Fish, Olive Flounder (*Paralichthys olivaceus*) (ヒラメの生食に伴う新しい食中毒)
Food Safety **4**,141-150(2014)
- (有機化学部) ○ 出水庸介, 三澤隆史, 栗原正明

- 短鎖ペプチドのヘリカル構造制御と機能化
有機合成化学協会誌, 72, 1336-1359 (2014)
- (薬理部) ○ 小島 肇, 西川秋佳
日本動物実験代替法評価センター (JaCVAM)平成 25 年度報告書
AATEX-JaCVAM, 3(2), 115-123 (2014)
- 中澤憲一, 篠田和俊^{*1}, 小島 肇, 吉村 功^{*2}, 西岡吾朗^{*3}, 石井 健^{*4}
^{*1}医薬品医療機器総合機構, ^{*2}東京理科大学, ^{*3}扶桑薬品工業, ^{*4}大阪大学
- in vitro 発熱性物質試験の評価報告書**
AATEX-JaCVAM, 3(2), 71-96 (2014)
- (病理部) ○ 豊田武士, 小川久美子, 塚本徹哉^{*1}, 立松正衛^{*2}
^{*1}藤田保健衛生大学, ^{*2}日本バイオアッセイ研究センター
除菌後胃癌の発生機序
G.I. Research, 先端医学社, 22(6): 487-493, 2014
3. 単行本
報告事項なし
4. 学会・講演等
- (生物薬品部) ○ 石井明子
抗体医薬品 さらなる発展への課題：規制の観点から
第 39 回日本薬学会関東支部学術講演会
(2014.12) 東京
- (再生・細胞医療製品部) ○ Yasuda S.
The New Japanese Regulatory Framework for Regenerative Medicine & Cell Therapy (日本における再生医療と細胞治療の新たな規制の枠組み)
World Stem Cell Summit 14 (2014.12) (San Antonio, USA)
- 佐藤陽治
ヒト/動物細胞加工製品の品質確保に関する基本的考え方
レギュラトリーサイエンス学会シンポジウム～再生医療等製品の承認審査と再生医療新法～
全日通労働組合大会議室 (東京都千代田区), 平成 26 年 11 月 25 日
- (遺伝子医薬部) ○ スレッシュ ティルパッティ, 斎藤嘉朗, 本間正充, 佐藤陽治, 鈴木孝昌
変異原暴露モニタリング手法としてのタンパクアダクトミクス
日本環境変異原学会第 43 回大会 (2014.12) (東京都千代田区)
- Suzuki T., Suresh T.
Protein adductome analysis for the human exposure monitoring to mutagens (ヒトの変異原物質暴露モニタリングのためのタンパクアダクトーム解析) *
The 4th Asian Conference on Environmental Mutagens (2014.12) (Kolkata, India)
- (医療機器部) ○ 新見 伸吾
バイオ医薬品の免疫原性の非臨床及び臨床における評価*
日本毒性学会 安全性評価研究会 2014 年冬のセミナー
2014 年 12 月 6 日 住友ベークライト株式会社 会議室
- (生活衛生化学部) ○ 神野透人, 香川(田中)聡子, 田原麻衣子, 川原陽子, 真弓加織, 五十嵐良明
無作為抽出による首都圏一般家庭を対象にした室内空気中ア

ルデヒド類および総揮発性有機化合物の調査

平成 26 年室内環境学会学術大会 (2014.12)(東京都新宿区)

- 香川(田中)聡子, 田原麻衣子, 川原陽子, 上村仁^{*1}, 斎藤育江^{*2}, 武内伸治^{*3}, 五十嵐良明, 神野透人

^{*1} 神奈川県衛生研究所, ^{*2} 東京都健康安全研究センター, ^{*3} 北海道立衛生研究所

室内外空気中の粒子状およびガス状揮発性有機化合物に関する研究

平成 26 年室内環境学会学術大会 (2014.12)(東京都新宿区)

- 田原麻衣子, 香川(田中)聡子, 川原陽子, 五十嵐良明, 神野透人

ガスクロマトグラフ/タンデム質量分析計による空気中の準揮発性有機化合物一斉分析法の開発

平成 26 年室内環境学会学術大会 (2014.12)(東京都新宿区)

- 秋山卓美, 五十嵐良明, 小濱とも子, 清水久美子, 河上強志, 藤井まき子^{*}, 杉本直樹, 穂山浩

^{*} 昭和薬科大学

コチニール色素及びカルミンの各種試験法によるアレルギー性の評価

第 108 回日本食品衛生学会学術講演会(2014.12)(金沢市)

- 内野正, 宮崎洋^{*1}, 山下邦彦^{*1}, 小島肇, 竹澤俊明^{*2}, 山口典子^{*3}, 中村牧^{*4}, 高石雅之^{*5}, 秋山卓美, 五十嵐良明

^{*1} (株) ダイセル, ^{*2} (独) 農業生物資源研究所, ^{*3} (株) ボゾリサーチセンター, ^{*4} 小林製薬 (株), ^{*5} (株) マンダム

ビトリゲルチャンバーを用いた皮膚感作性試験代替法**(Vitrigel-SST 法) の改良**

日本動物実験代替法学会第 27 回大会(2014.12)(横浜市)

- 宮崎洋^{*1}, 山下邦彦^{*1}, 内野正, 小島肇, 竹澤俊明^{*2}

^{*1} (株) ダイセル, ^{*2} (独) 農業生物資源研究所

ビトリゲルチャンバーを用いた皮膚感作性試験代替法**(Vitrigel-SST 法) による感作性物質の評価**

日本動物実験代替法学会第 27 回大会(2014.12)(横浜市)

- (食品部) ○ 鍋師裕美, 植草義徳, 堤 智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子, 手島玲子

マーケットバスケット方式によるストロンチウム 90 の預託実効線量の推定

第 108 回日本食品衛生学会学術講演会, 平成 26 年 12 月, 金沢

- 渡邊敬浩, 片岡洋平, 松田りえ子, 五十嵐敦子, 手島玲子

幼児における鉛、カドミウム、ヒ素等元素類摂取量の推定

第 108 回日本食品衛生学会学術講演会, 平成 26 年 12 月, 金沢

- 植草義徳, 鍋師裕美, 堤 智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子, 手島玲子

市販流通食品中の放射性セシウム濃度の調査 (平成 24~25 年度)

第 108 回日本食品衛生学会学術講演会, 平成 26 年 12 月, 金沢

- 堤 智昭, 植草義徳, 松田りえ子, 五十嵐敦子, 渡邊敬浩, 手島玲子

ダイオキシン類摂取量の経年変化 (平成 10~25 年度)

第 108 回日本食品衛生学会学術講演会, 平成 26 年 12 月, 金沢

- 手島玲子

食物アレルギー管理 「管理に結びつく基礎的情報」

日本アレルギー学会第一回総合アレルギー講習会 平成 26 年 12 月, 東京

- 片岡洋平, 渡邊敬浩, 五十嵐敦子, 手島玲子

無機ヒ素の国民平均摂取量の推定

第 108 回日本食品衛生学会学術講演会, 平成 26 年 12 月, 金沢

- 松田りえ子, 堤智昭, 植草義徳, 五十嵐敦子, 渡邊敬浩, 手島玲子

幼児におけるダイオキシン類摂取量の推定

第 108 回日本食品衛生学会学術講演会, 平成 26 年 12 月, 金沢

(食品添加物部)

- 久保田浩樹, 佐藤恭子, 穂山 浩

希釈過酸化ベンゾイル添加小麦粉を用いて製造されたパン中の副生成物の分析

第 108 回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

- 鈴木一平, 久保田浩樹, 大槻 崇, 小田琢磨, 建部千絵, 佐藤恭子, 穂山 浩

IC-MS/MS を用いた過酢酸製剤成分 1-ヒドロキシエチリデン 1,1-ジホスホン酸 (HEDP) の食品中の分析法の開発

第 108 回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

- 河崎裕美, 関口若菜, 多田敦子, 秋山卓美, 杉本直樹, 穂山 浩

HILIC カラムを用いた LC/MS によるカラメルⅢ中の 2-アセチル-4-テトラヒドロキシブチルイミダゾール (THI) の直接定量

第 108 回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

- 松田 諭, 多田敦子, 大槻 崇, 石附京子, 河崎裕美, 田原麻衣子, 杉本直樹, 穂山 浩

既存添加物クエルセチンの定量法確立のための qNMR を用いた基礎的検討

第 108 回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

- 阿部 裕, 山口未来, 六鹿元雄, 穂山 浩

LC/MS/MS を用いたポリ塩化ビニル中のフタル酸エステル分析法

第 108 回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

- 山口未来, 阿部 裕, 六鹿元雄, 穂山 浩

GC/MS/MS を用いた食品中の器具・容器包装に由来する添加剤の分析

第 108 回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

- 中西 徹^{*1}, 河村葉子, 城市 香^{*1}, 川口寿之^{*1}, 杉本敏明^{*1}, 阿部 裕, 六鹿元雄

^{*1} 日本食品分析センター

植物油総溶出量試験法の改良 その 1 植物油定量法

第 108 回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

- 城市 香^{*1}, 河村葉子, 中西 徹^{*1}, 川口寿之^{*1}, 杉本敏明^{*1}, 阿部 裕, 六鹿元雄

^{*1} 日本食品分析センター

植物油総溶出量試験法の改良 その 2 試料の恒量化

第 108 回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

- 村上 亮^{*1}, 六鹿元雄, 阿部 孝^{*2}, 阿部智之^{*1}, 阿部 裕, 大坂郁恵^{*3}, 大野春香^{*4}, 大野浩之^{*5}, 大野雄一郎^{*6}, 尾崎麻子^{*7}, 柿原芳輝^{*8}, 河崎裕美, 小林 尚^{*9}, 柴田 博^{*10}, 城野克広^{*11}, 関戸晴子^{*12}, 藪部博則^{*13}, 高坂典子^{*14}, 但馬吉保^{*15}, 田中 葵^{*16}, 田中秀幸^{*11}, 野村千枝^{*17}, 羽石奈穂子^{*18}, 疋田晃典^{*19},

三浦俊彦^{*20}, 渡辺一成^{*21}, 穂山 浩

^{*1} 日本食品衛生協会, ^{*2} 日本食品分析センター, ^{*3} 埼玉県衛生研究所, ^{*4} 愛知県衛生研究所, ^{*5} 名古屋市衛生研究所, ^{*6} 千葉県薬剤師会検査センター, ^{*7} 大阪市立環境科学研究所, ^{*8} 日本穀物検定協会, ^{*9} 食品分析開発センターSUNATEC, ^{*10} 東京顕微鏡院, ^{*11} 産業技術総合研究所, ^{*12} 神奈川県衛生研究所, ^{*13} 日本文化用品安全試験所, ^{*14} 食品薬品安全センター, ^{*15} 食品環境検査協会, ^{*16} 日本海事検定協会, ^{*17} 大阪府立公衆衛生研究所, ^{*18} 東京都健康安全研究センター, ^{*19} 長野県環境保全研究所, ^{*20} 日本冷凍食品検査協会, ^{*21} 化学研究評価機構

ポリエチレンテレフタレート製器具・容器包装におけるアンチモンおよびゲルマニウム溶出試験の試験室間共同試験

第108回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

- 柴田 博^{*1}, 六鹿元雄, 阿部 裕, 中西 徹^{*2}, 大坂郁恵^{*3}, 大野春香^{*4}, 大野浩之^{*5}, 大野雄一郎^{*6}, 尾崎麻子^{*7}, 柿原芳輝^{*8}, 小林 尚^{*9}, 城野克広^{*10}, 関戸晴子^{*11}, 菌部博則^{*12}, 高坂典子^{*13}, 但馬吉保^{*14}, 田中 葵^{*15}, 田中秀幸^{*10}, 野村千枝^{*16}, 羽石奈穂子^{*17}, 疋田晃典^{*18}, 三浦俊彦^{*19}, 山口未来, 伊藤禎啓^{*20}, 渡辺一成^{*21}, 穂山 浩

^{*1} 東京顕微鏡院, ^{*2} 日本食品分析センター, ^{*3} 埼玉県衛生研究所, ^{*4} 愛知県衛生研究所, ^{*5} 名古屋市衛生研究所, ^{*6} 千葉県薬剤師会検査センター, ^{*7} 大阪市立環境科学研究所, ^{*8} 日本穀物検定協会, ^{*9} 食品分析開発センターSUNATEC, ^{*10} 産業技術総合研究所, ^{*11} 神奈川県衛生研究所, ^{*12} 日本文化用品安全試験所, ^{*13} 食品薬品安全センター, ^{*14} 食品環境検査協会, ^{*15} 日本海事検定協会, ^{*16} 大阪府立公衆衛生研究所, ^{*17} 東京都健康安全研究センター, ^{*18} 長野県環境保全研究所, ^{*19} 日本冷凍食品検査協会, ^{*20} 日本食品衛生協会, ^{*21} 化学研究評価機構

ゴム製器具・容器包装における亜鉛溶出試験の試験室間共同試験

第108回 日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12)(金沢市)

(衛生微生物部)

- 吉成知也, 成川絢子, 大西貴弘, 寺嶋淳
- 乳幼児用食品におけるカビ毒汚染のリスク評価に関する研究**
第108回日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12) (石川県・金沢市)
- 大塚佳代子^{*1}, 鈴木史恵^{*2}, 山崎匠子^{*3}, 小西典子^{*4}, 菊地理慧^{*5}, 岩刈香織^{*6}, 永井佑樹^{*7}, 磯部順子^{*8}, 山田裕子^{*9}, 坂本 綾^{*10}, 上田泰史^{*11}, 森 哲也^{*12}, 中川 弘^{*13}, 工藤由起子

^{*1} 埼玉衛生研究所, ^{*2} 静岡市環境保健研究所, ^{*3} 杉並区衛生試験所, ^{*4} 東京都健康安全研究センター, ^{*5} 福島県衛生研究所, ^{*6} 岩手県環境保健研究センター, ^{*7} 三重県保健環境研究所, ^{*8} 富山県衛生研究所, ^{*9} 広島県立総合技術研究所保健環境センター, ^{*10} 広島市衛生研究所, ^{*11} 神戸検疫所輸入食品・検疫検査センター, ^{*12} 一般財団法人東京顕微鏡院, ^{*13} (株) BMLフード・サイエンス

食品における腸管出血性大腸菌 O26、O103、O111、O121、O145 および O157 試験法のコラボレイティブスタディ

第108回日本食品衛生学会学術講演会 (2014.12) (石川県・金沢市)

- 齋藤 明美^{*1}, 石川 暢子^{*1}, 吉田 信一郎^{*1}, 市川 希美^{*2}, 森 哲也^{*2}, 難波 豊彦^{*2}, 工藤 由起子
- ^{*1} 一般財団法人日本食品分析センター, ^{*2} 一般財団法人東京顕微鏡院

- ゼリー状飲料及び粉末清涼飲料の細菌試験法の問題とその改善法の検討。
第108回日本食品衛生学会学術講演会(2014.12)(石川県・金沢市)
- (生化学部) ○ 野口秋雄, 中村公亮, 真野潤一¹, 高島令王奈¹, 峯岸恭孝², 橘田和美¹, 手島玲子, 近藤一成, 最上(西巻)知子
¹(独)農研機構 食品総合研究所, ²(株)ニッポンジーン
遺伝子組換えトウモロコシの新規スクリーニング検査法の開発
第108回 日本食品衛生学会学術講演会(2014.12)(金沢)
○ 真野潤一¹, 西辻泰之², 菊池洋介², 福留真一², 林田拓也³, 川上裕之³, 栗本洋一³, 野口秋雄, 近藤一成, 最上(西巻)知子, 高島令王奈¹, 橘田和美¹
¹(独)農研機構 食品総合研究所, ²(株)日清製粉グループ本社, ³日本製粉(株)
加工食品中の遺伝子組換え農産物混入率評価手法の検討
第108回 日本食品衛生学会学術講演会(2014.12)(金沢)
○ 中村公亮, 小林友子, 近藤一成, 最上(西巻)知子
標的DNAのメチル化の頻度およびパターン解析による新規GM検知法確立の試み
第108回 日本食品衛生学会学術講演会(2014.12)(金沢)
○ 中村公亮, 近藤一成, 小林友子, 野口秋雄, 高島令王奈¹, 橘田和美¹, 最上(西巻)知子
¹(独)農研機構 食品総合研究所
CaNCED 配列を標的としたヒヨコマメ内性遺伝子検知法
第108回 日本食品衛生学会学術講演会(2014.12)(金沢)
○ 中西希代子¹, 中村公亮, 近藤一成, 穂山 浩, 最上(西巻)知子, 池田 恵¹
¹千葉県衛生研究所
加工食品中の食品添加物CMCによるDNA精製効率に与える影響について
第108回 日本食品衛生学会学術講演会(2014.12)(金沢)
○ 坂田こずえ, 近藤一成, 中村公亮, 野口秋雄, 小林友子, 福田のぞみ, 最上(西巻)知子
Multiplex real-time PCRを用いたクサウラベニタケとその近縁種の同定
第108回 日本食品衛生学会学術講演会(2014.12)(金沢)
○ 安達玲子, 酒井信夫, 有馬優美¹, 山本智之¹, 佐久間恵², 最上(西巻)知子
¹株式会社ニッポンジーン, ²オリエンタル酵母工業株式会社
新規抽出液を用いて調製した特定原材料定量検査法標準品に関する検討
第108回 日本食品衛生学会学術講演会(2014.12)(金沢)
(安全情報部) ○ 森田 健, 小宮佐知子
EU、ドイツおよび日本における生殖細胞変異原の分類比較
第43回日本環境変異原学会(2014.12)(東京)
○ Morita, T., Komiya, S.
Classification of germ cell mutagens in EU, Germany or Japan (EU、ドイツ、日本における生殖細胞変異原物質の分類)*
4th ACEM (Asian Conference on Environmental Mytagens)
(2014.12)(コルカタ、インド)
(医薬安全科学部) ○ 佐井君江, 杉山永見子, 松澤由美子, 斎藤嘉朗
日本人と東及び東南アジア諸民族における薬物代謝酵素・ト

- ランスポーター遺伝子多型の民族差
第35回日本臨床薬理学会学術総会 (2014.12)(松山)
- 斎藤嘉朗, 齊藤公亮, 児玉進, 熊谷雄治*, 前川京子
*北里大学
- ヒト試料を用いたバイオマーカー開発のためのレギュラトリーサイエンス
第35回日本臨床薬理学会学術総会 (2014.12)(松山)
- 前川京子, 樋坂章博¹⁾, 久米俊行¹⁾, 前田和哉¹⁾, 鈴木洋史¹⁾, 三浦慎一²⁾, 佐藤正延³⁾, 佐藤玲子³⁾, 永井尚美³⁾, 斎藤嘉朗, 渡邊裕司⁴⁾, 大野泰雄
¹⁾日本薬物動態学会, ²⁾日本製薬工業協会, ³⁾独立行政法人医薬品医療機器総合機構, ⁴⁾日本臨床薬理学会
- 「医薬品開発と適正な情報提供のための薬物相互作用ガイドライン」の最終案について
第35回日本臨床薬理学会学術総会 (2014.12)(松山)
- (毒性部) ○ 菅野 純
- イントロダクション：現場から研究へーネオニコチノイドをめぐって
環境ホルモン学会 第17回研究発表会, 2014.12, 東京
- (薬理部) ○ 石田誠一, Helene Schneider*, 久保崇, 堀環, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 金秀良, Anne Corlu*, Fabrice Morel*, 関野祐子
*フランス国立保健医学研究所
- ヒト肝前駆細胞 HepaRG の分化過程のゲノミクス/エピジェネティクス解析
日本動物実験代替法学会第27回大会 (2014.12) (神奈川県)
- 松下琢*, 市川雄大*, 石井貴晃*, 古水雄志*, 金秀良, 石田誠一, 宮島敦子, 関野祐子
*崇城大学
- 胎児及び成人肝細胞のメタボロームと化学物質毒性発現の比較解析
日本動物実験代替法学会第27回大会 (2014.12) (神奈川県)
- 押方歩*, 石田誠一, 黒田幸恵, 竹澤俊明*
*(独) 農業生物資源研究所
- 薬物の動態解析に有用なヒト肝がん細胞の新しい培養法：コラーゲンビトリゲル膜チャンバーを用いた「液相-気相」界面におけるサンドイッチ型の内皮細胞と共培養システム
日本動物実験代替法学会第27回大会 (2014.12) (神奈川県)
- 石田誠一
- 肝臓の代謝酵素誘導評価法の確立
第11回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム (2014.12) (東京)
- 諫田泰成
- ヒト iPS 細胞を用いた新たな安全性薬理試験の開発
日本動物実験代替法学会第27回大会 (2014.12) (神奈川県横浜市)
- 麻薙美紀*¹⁾, 山田茂, 板垣宏*¹⁾, 関野祐子, 諫田泰成
*¹⁾横浜国立大学
- ヒト細胞のエネルギー代謝機能に基づく *in vitro* 発達神経毒性評価法の試み
日本動物実験代替法学会第27回大会 (2014.12) (神奈川県横浜市)
- 小島 肇
- シンポジウム1「医薬部外品申請において動物実験代替法を活用するためにーガイダンス検討会活動の紹介ー」ガイド

ス検討会発足の趣旨

日本動物実験代替法学会第27回大会(2014.12)(横浜)

- 山影康次^{*1}, 鈴木紀之^{*2}, 斎藤幸一^{*2}, 渡部美香^{*1}, 池田直弘^{*3}, 柳和則^{*4}, 大森崇^{*5}, 小島 肇, 田中憲徳^{*1}

^{*1}(一財) 食品薬品安全センター-秦野研究所, ^{*2}住友化学株式会社, ^{*3}花王株式会社, ^{*4}株式会社住友化学分析センター, ^{*5}同志社大学

シンポジウム2「化学物質の「安全の保証」に向けて—安心・安全に向けた化学業界の取り組み—」産業利用促進を目指した新規 *in vitro* 発生毒性試験の応用研究

日本動物実験代替法学会第27回大会(2014.12)(横浜)

- 関野祐子

in vitro 試験法でどのような中枢神経毒性を評価できるのか? *

安全性評価研究会 2014年冬のセミナー (2014.12) (東京都品川区)

- 佐藤 薫

安全性薬理試験へのヒト iPS 細胞由来神経細胞の応用—神経特異的評価の可能性と課題

第11回 医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム ヒト iPS 細胞を医療下安全性薬理試験法の実現に向けて (2014.12) (東京)

(病理部)

- 石井雄二, 梅村隆志

病理学的視点からの遺伝毒性・発がん性機序解明へのアプローチ

日本環境変異原学会 第43回大会 (2014.12) (東京)

- 石井雄二, 高須伸二, 木島綾希, 横尾 諭, 土屋卓磨, 児玉幸夫, 小川久美子, 梅村隆志

肝発がん物質エストラゴールの突然変異誘発過程における細胞増殖活性と PP2A 不活性化の関与

日本環境変異原学会 第43回大会 (2014.12) (東京)

- 高須伸二, 石井雄二, 木島綾希, 横尾 諭, 能美健彦, 西川秋佳, 小川久美子, 梅村隆志

gpt delta ラット大腸におけるヘテロサイクリックアミン誘発 *in vivo* 変異原性に対する高脂肪食の影響

日本環境変異原学会第43回大会 (2014.12) (東京)

- 木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 横尾 諭, 土屋卓磨, 児玉幸夫, 梅村隆志

ニトロフラントインの *in vivo* 変異原性における Nrf2 の役割

日本環境変異原学会第43回大会 (2014.12) (東京)

- 塚本徹哉^{*1}, 豊田武士, 桐山諭和^{*1}, 立松正衛^{*2}

^{*1}藤田保健衛生大学, ^{*2}日本バイオアッセイ研究センター

Helicobacter pylori 感染と高食塩食による遺伝子発現変動: MNU 誘発マウス腺胃発癌モデルによる解析

第25回日本消化器癌発生学会総会 (2014.11) (福岡)

(変異遺伝部)

- 堀端克良

共同研究進捗報告『*Pig-a* アッセイ』

MMS 研究会第65回定例会(2014.12) (東京)

- 増村健一, 豊田尚美, 権藤洋一^{*}, 能美健彦, 本間正充

^{*}理化学研究所バイオリソースセンター

マウス全エクソシークエンス解析による経世代突然変異の測定

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- 本間正充

遺伝毒性インテリジェントテストシステム

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- 佐々彰, 鴨下渚, 兼丸祐紀, 本間正充, 安井学
ゲノムに導入させた酸化的クラスターDNA損傷の数的遺伝毒性影響

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- Suresh Thirupathi, 斎藤嘉朗, 本間正充, 佐藤陽治, 鈴木孝昌

変異原暴露モニタリング手法としてのタンパクアダクトミクス

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- グルーズ ピーター, 清水雅富*, 杉山圭一, 本間正充
*東京医療保健大学

ω-3系多価不飽和脂肪酸の過酸化反応から生成されるアルデヒド類の変異原性に関する研究

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- 萩尾宗一郎^{*1,2}, 小川いづみ^{*1}, 阿部正義^{*1}, 林清吾^{*1}, 辻菜穂^{*1}, 黒田雄介^{*1}, 古川賢^{*1}, 八木孝司^{*2}, 本間正充, 増村健一
*1日産化学工業(株) *2大阪府立大学

gpt delta マウスを用いたアクリルアミドの生殖細胞に対する遺伝毒性評価

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- 山田雅巳, 堀端克良, 鶴飼明子, 木本崇文^{*1}, 千藏さつき^{*1}, 伊東悟^{*2}, 武藤重治^{*3}, 宇野芳文^{*3}, 真田尚和^{*4}, 高島理恵^{*5}, 志賀野美幸^{*5}, 高沢博修^{*5}, 濱田修一^{*5}, 山本美佳^{*6}, 堀妃佐子^{*7}, 堤絵梨^{*7}, 和田邦生^{*8}, 前田晃央^{*9}, 小坂瑞樹^{*10}, 木村葵^{*10}, 菊月隆太^{*11}, 荻原庸介^{*11}, 京谷恭弘^{*12}, 足立秀樹^{*13}, 上松泰明^{*13}, 吉田唯真^{*14}, 成見香瑞範^{*15}, 福田隆之^{*16}, 鈴木裕太^{*16}, 後藤玄^{*16}, 森田健, 本間正充
*1 帝人ファーマ, *2 第一三共, *3 田辺三菱製薬, *4 科研製薬, *5 L S I メディエンス, *6 アステラス製薬, *7 サントリー, *8 残農研, *9 東レ, *10 新日本科学, *11 大正製薬, *12 クミアイ化学, *13 大日本住友製薬, *14 武田薬品工業, *15 ヤクルト本社, *16 ポゾリサーチセンター

Pig-a/PIGRET アッセイに関する短期試験への有用性: MMS 共同研究報告

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- 堀端克良, 鶴飼明子, 本間正充

MMS/Pig-a 共同研究: アクリルアミドの遺伝毒性評価

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- 杉山圭一, 高宗万希子, 古沢博子, 本間正充

5-アザ-2'-デオキシシチジンに対するヒトDNAメチル化酵素遺伝子形質転換酵母の感受性

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- 堀妃佐子*, 田中康浩*, 堤絵梨*, 百南綾香*, 増村健一, 山田雅巳, 藤居互*, 北川義徳*

*サントリービジネスエキスパート株式会社

DMHを用いたF344系統gpt deltaラット突然変異試験と小核試験(末梢血, 骨髄, 肝臓, 大腸)の統合法の検討

日本環境変異原学会第43回大会(2014.12) (東京)

- 青木康展^{*1}, 橋本頭子^{*1}, 菅原良樹^{*1}, 荒井孝子^{*1}, 後藤佐多良^{*2}, 増村健一, 能美健彦

*1(独)国立環境研究所 *2順天堂大学

ベンゾ[a]ピレンを気管内投与したgpt deltaマウス肺中に誘

導された突然変異の加齢に伴う変化

日本環境変異原学会第 43 回大会(2014.12) (東京)

- 本山茂記^{*1}, 竹入章^{*1}, 松尾沙織里^{*1}, 和田直子^{*2}, 寺社下浩一^{*2}, 三島雅之^{*1}, 新見直子, Petr Grúz, 増村健一, 山田雅巳, 能美健彦

^{*1}中外製薬(株) ^{*2}(株)中外医科学研究所**Mitomycin C による DNA 損傷に対する DNA polymerase kappa の役割 - γ H2AX を指標にした免疫組織学的解析-**

日本環境変異原学会第 43 回大会(2014.12) (東京)

- 須井哉*, 川上久美子*, 根岸沙記*, 増淵恵美*, 園原啓太*, 山田雅巳

* (一財) 薬品安全センター秦野研究所

ハイ・スループット微生物遺伝毒性試験法の検討 9

日本環境変異原学会第 43 回大会(2014.12) (東京)

- 安井学

部位特異的にゲノム内に導入した DNA 付加体の遺伝的影響

日本環境変異原学会第 43 回大会(2014.12) (東京)

- 長野聖也^{*1}, 東垣由夏^{*1}, 佐々彰, 川西優喜^{*1}, 安井学, 高村岳樹^{*2}, 八木孝司^{*1}

^{*1}大阪府立大学 ^{*2}神奈川工大**DNA 塩基損傷 1 分子を部位特異的にもつプラスミドの作製とヒト細胞における TLS 解析**

日本環境変異原学会第 43 回大会(2014.12) (東京)

- 羽倉昌志^{*1}, 青儀巧^{*2}, 加藤雅之^{*3}, 杉山圭一^{*1}

^{*1}エーザイ(株) ^{*2}大塚製薬(株) ^{*3}(株)シミックバイオリサーチセンター**19 研究機関による BMS 共同研究：化学合成で汎用される試薬 20 種類の Ames 試験データの収集**

日本環境変異原学会第 43 回大会(2014.12) (東京)

- 本間正充

QSAR を活用した医薬品中の遺伝毒性不純物の評価と管理

日本動物実験代替法学会第 27 回大会(2014.12) (横浜)

- Honma M, Yasui M, Kanemaru Y, Kamoshita N, Suzuki T, Arakawa T*

*Health Sciences University of Hokkaido

Tracing the fates of site-specifically introduced DNA adducts in the human genome (ヒトゲノムに部位特異的に導入した DNA 付加体の運命を追跡する) *

4th Asian Conference on Environmental Mutagens (2014.12) (Kolkata, India)

- Masumura K, Toyoda-Hokaiwado N, Ishii Y, Umemura T, Honma M, Nishikawa A, Nohmi T

Point mutations and deletions induced by aging in liver of *gpt delta* transgenic rats (*gpt delta* ラット肝臓に加齢に伴い誘発される点突然変異と欠失変異) *

4th Asian Conference on Environmental Mutagens (2014.12) (Kolkata, India)

- Nohmi T, Suzuki T, Matsumoto K*, Honma M

*The Institute of Environmental Toxicology

Roles of translation DNA synthesis in threshold for genotoxic chemicals (遺伝毒性の閾値におけるトランスリジョン DNA 合成の役割) *

4th Asian Conference on Environmental Mutagens: 2014.12) (Kolkata, India)

- Yamada M, Takamune M, Matsuda T*
*Kyoto University
Novel mutation assay with non-selective protocol using a next-generation DNA sequencer (次世代 DNA シークエンサーを用いた非選択法による新しい変異原性試験) *
4th Asian Conference on Environmental Mutagens (2014.12)
(Kolkata, India)

5. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告

(総合評価室) ○ 小野 敦

- 12th meeting of Validation Management Group for Non-Animal Testing in OECD-EDTA. (OECD 内分泌かく乱物質の試験・評価プログラムタスクフォースにおける第12回非動物試験検証管理グループ会議)**
パリ, 2014年12月
第12回 VMG-NA 会合において、各国で進められている内分泌かく乱物質の in vitro 評価法のバリデーション試験の進捗やガイドライン案について議論を行った。

6. 新聞・テレビ等

(薬品部) ○ 合田幸広

- ニュースな科学**
日本経済新聞 12月12日朝刊
来年4月から開始される健康食品の新しい機能性表示に関連して、健康食品の原材料に、正しい基原のものが使用されていない例があるという国立衛研の研究結果が紹介された。